



YMCA NEWS

熊本地震 特別号



つながる力を、支える力に。

2026年熊本地震 熊本YMCAの救援・復興支援

2026年7月28日16時27分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、最大震度7を観測しました。被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

熊本YMCAの各拠点も、建物の亀裂や床の隆起、天井パネルの落下などの被害を受けました。一方、地震発生直後から利用者の安全確保を最優先に対応するとともに、地域の状況や支援ニーズを確認し、地域の皆さまへの支援を開始しました。

2016年の熊本地震では、益城町総合運動公園などの避難所運営や仮設団地の地域支え合いセンターの運営に携わった熊本YMCA。その経験を活かし、8月17日には、八代市から受託した2カ所の避難所で運営の引き継ぎを開始し、19日からは御船町の避難所運営も受託しました。全国のYMCA、ワイズメンズクラブ、企業・団体、ボランティア、そして多くの皆さまから寄せられる支援に支えられながら、熊本YMCAは地域とともに復旧・復興への歩みを続けています。

- 1 ながみねファミリーセンターのプール開放でリフレッシュ(中面に関連記事)
- 2 被災した地域へ支援物資を届けた
- 3 YMCA阿蘇キャンプでブルーベリー狩りを楽しむ八代ナザレ園の子ども(中面に関連記事)
- 4 熊本YMCA学院日本語科では留学生たちの安否確認を行った
- 5 熊本地震の影響で一部の夏休みプログラムに影響が。スケジュールを変更しながら実施したみなみグローバルコミュニティセンターのサザンスクール第3期
- 6 YMCA阿蘇キャンプのオープンハウスで川の生き物探しを楽しむ参加者たち(中面に関連記事)
- 7 全国のYMCAで募金活動が行われている。写真は東京YMCAの街頭募金
- 8 避難所運営では全国のYMCAからの応援に支えられている
- 9 10 7月末、復旧作業中にはYMCA関係者から職員への差し入れも
- 11 Amazon「みんなで応援」プログラムを通じて届いた支援物資

熊本YMCAの活動の記録

2016年熊本地震から10年。
これまでの経験をこれからの支援に。

7/28
(火)

地震発生

熊本YMCAでは16時27分の地震発生直後から、プログラムを中止し、各施設で利用者、子どもたち、職員の安全確認を実施しました。指定管理者として運営する益城町総合運動公園では避難所を開設。地震発生当日の7月28日には約450名を受け入れ、町の職員と協力して運営をサポートしました。各拠点で建物や設備の被害状況を確認。保育園・幼稚園等では、園児の安全確認や保護者への引き渡しなど、それぞれの施設で緊急対応を行いました。



地震後の本館/グローバルコミュニティセンター5階事務所



益城町町民グラウンドのナイター照明が倒壊

7/29~
(水)

避難所対応と施設の復旧を並行

益城町総合運動公園では、7月29日夜には避難者数が約750名になりました。熊本YMCAの各施設では被害状況を確認し、安全点検や片付け、復旧作業を開始しました。施設によって被害の程度やライフラインの状況が異なる中、安全を最優先に、再開できる事業から順次再開。保育園などでも、地域の状況を確認しながら子どもたちの受け入れを進めました。

8/1
(土)

現地調査を開始

八代市在住のYMCA会員の協力のもと、福岡YMCA、神戸YMCAの関係者とともに被害の大きかった八代市等の現地調査を実施しました。避難所、地域の拠点、行政機関、教会などを訪問し、被害状況を確認するとともに、現地の方々から必要とされている支援について聞き取りを行いました。



八代市等の被災状況を確認した



調査に合わせて支援物資を届けた

8/2
(日)

YMCA阿蘇キャンプ「日帰りオープンハウス」

地震の影響により、地域では様々な行事が中止となり、夏休みを楽しみにしていた子どもたちにも影響が広がりました。そこでYMCA阿蘇キャンプでは、子どもたちに夏休みのお楽しみを提供すること、大人の皆さんに自然の中で心身を休めていただくことを目的に、日帰りオープンハウスを開催しました。19家族・約60名が参加し、阿蘇の自然の中で、水遊びやブルーベリー狩り、川の生き物探しなどをしました。



プールで遊ぶ参加者たち

8/3
(月)

熊本YMCAの本館/グローバルコミュニティセンター、ながみねファミリーセンター、東部グローバルコミュニティプラザでは全プログラム、みなみグローバルコミュニティセンターでは一部のプログラムを再開しました。

8/4
(火)

全国YMCAとともに八代地域へ

日本YMCA同盟総主事および東京YMCA職員とともに、氷川町、八代市等を訪問しました。児童養護施設「八代ナザレ園」、日本福音ルーテル八代教会などを訪れ、施設の被害状況や地域の様子、今後必要となる支援について確認しました。

同日、むさしグローバルコミュニティセンターが全プログラムを再開しました。

継続した取り組み

全国のYMCAとの連携

地震発生直後から、熊本YMCAは全国のYMCAと被害状況や地域の支援ニーズを共有してきました。全国のYMCA関係者が現地調査や支援活動に参加。八代市内2カ所の避難所運営では、全国のYMCAから応援スタッフが熊本に入り、熊本YMCA職員とともに運営にあたっています。



避難所運営を行う全国YMCAの職員ら

全国YMCAの避難所運営協力
11YMCAから **39名**
9月11日時点

物資の提供

断水や水の使用制限が続いていた地域を訪問し、飲料水をはじめとする物資を届けました。熊本YMCA関係者や職員の知人など、地域に暮らす皆さんとのつながりを通して状況を確認。支援物資は関係者やAmazon「みんなで応援」プログラムを通して提供されました。



カトリック山口教会の神父である片柳弘史さんと教会の皆さんから水が提供され、YMCA職員が被災した地域へ届けた



8/7
(金)

八代市と避難所運営について協議

八代市の小野市長をはじめ市職員の皆さんと八代市内の避難所運営について協議。その後も八代市と運営受託にむけた準備を重ねました。



八代市との協議風景

8/9
(日)

地域の皆さんへプールを開放

ながみねファミリーセンターで、地域の皆さんを対象とした1名200円のプール開放を実施しました。地震の影響により、様々な制約や不安の中で過ごす中、子どもも大人も体を動かし、リフレッシュできる時間を過ごしてもらうことが目的。午前の部に75名、午後の部に106名、のべ181名が参加しました。



プールで楽しむ参加者たち

8/9
(日)

益城町総合運動公園では8月9日午前には避難されていたすべての方が退所、または他施設へ移動したことに伴い、避難所としての役割を終えました。

8/9(日)
11(火)

八代ナザレ園サマーキャンプ

八代市の児童養護施設「八代ナザレ園」の子どもたち20名をYMCA阿蘇キャンプに招き、「サマーキャンプ2026」を実施しました。地震の影響により、八代ナザレ園では地域の方々へのシャワー開放など地域を支える取り組みが続けられ、子どもたちも普段とは異なる夏休みを過ごしていました。そこで、自然の中で思いきり遊び、リフレッシュしてもらうことを目的に企画。子どもたちは阿蘇の自然の中で3日間を過ごしました。YMCAのユースボランティアリーダーや専門学校熊本YMCA学院の学生などもキャンプを支えました。



川の生き物を探す子どもたち

ボランティアを派遣

被災地の状況やニーズに応じて、職員や学生ボランティアなどを派遣。8月29日には、八代市の避難所の拠点化に伴う太田郷小学校避難所の開設準備に協力し、段ボールベッドなどを設置しました。また、現場で活動するスタッフを支える環境づくりにも取り組んでいます。

8/16
(日)

八代市と避難所運営に関する契約を締結

八代市と「八代トヨオカ地建アリーナ（総合体育館）避難所」、「鏡コミュニティセンター避難所」の2カ所の避難所運営に関する契約を締結しました。八代市職員から運営を引き継ぐための準備を行うとともに、全国のYMCAとも情報を共有し、避難所運営を継続して担うための人的支援体制を整えました。

8/17
(月)

避難所運営の引き継ぎを開始

八代市から受託した2カ所の避難所の運営の引き継ぎを開始しました。全国のYMCAからの協力を得て、避難所運営を担うことにより、市職員の皆さんが避難所対応から離れ、本来の業務にできるだけ早く戻ることができる環境を整え、八代市の復旧・復興を後押しすることが、この取り組みの目的の一つです。



▲八代トヨオカ地建アリーナ（総合体育館）避難所。
8月17日6時時点で317名が避難していた（写真は8月27日の様子）



鏡コミュニティセンター避難所には84名が避難していた（写真は8月18日の様子）▶

8/17
(月)

一部を除くプログラムを休止していたみなみグローバルコミュニティセンターが全プログラムを再開

8/19
(水)

御船町の避難所運営を受託

御船町からの委託を受け、御船町カルチャーセンターに開設されている避難所の運営を開始しました。カルチャーセンターは、熊本YMCA等が指定管理者として運営する御船町スポーツセンターに隣接しています。避難所では、御船町と連携しながら、避難されている皆さんの入退館・人数の確認、館内の巡回・見守り、支援物資の整理、情報の案内、困りごとの一次対応、日々の記録などを行っています。



8月20日時点、施設内の3カ所に分かれて15名が避難していた

9/1
(火)

八代市の避難所の本格運営へ

八代市2カ所の避難所の運営引継期間を終え、熊本YMCAが主体となる体制へ移行しました。他団体とも協働しながら避難されている皆さんの生活を支える活動にあたっています。

：

全国のYMCAとともに



日本YMCA同盟 総主事
太田直宏さん

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

発災直後の8月初旬、現地を訪問させていただきました。

熊本市内の各YMCAセンターが力強く歩みを進めているお姿に頼もしさを感じると同時に、自らも被災されながら地域と子どもたちの尊厳を守るために奮闘されている熊本YMCAの皆さまに、深い敬意と感謝を捧げます。

一方で、熊本南部地域の深刻な傷跡を目の当たりにし、全国からの支援の必要性を痛感いたしました。

そうした中、阿蘇キャンプで弾けるような笑顔を見せてくれた被災地の子どもたちの姿は、私たちにYMCAの使命を改めて確信させてくれました。

イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき、被災地に「ポジティブネット」を構築していくため、今こそ全国のYMCAのつながりを活かす時です。長期的な復旧・復興に向けて、全国の仲間と心をつなにし、共に歩んでまいりましょう。

被災地の皆様へ、そして避難所を支えるYMCAの皆様へ！



ワイズメンズクラブ国際協会
2026-2027年度 西日本区理事
岡村遍導さん

この度の令和8年熊本地震により尊い命を失われた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ワイズメンズクラブ西日本区では、地震翌日の7月29日に災害対策本部を設置し、支援体制を整えてまいりました。8月17・18日には私自身も熊本を訪れ、YMCAが運営する避難所やワイズメンズクラブが支援した保育園を慰問・視察いたしました。関西に戻った今も、水道の蛇口をひねる時、食事をいただく時、熊本で避難生活を続ける皆様と、昼夜を問わず支援に尽力されるYMCA職員の皆様を思わずにはいられません。

「今、何が 필요한のか」「私たちに何ができるのか」を問い続け、被災された皆様への支援とともに、未来を担う青少年を育むYMCAの復旧・復興を力強く支えてまいります。この支援を決して一過性のものとせず、西日本区の仲間とともに熊本に心を寄せ、息の長い支援を続けてまいります。

※ワイズメンズクラブ国際協会はYMCAをサポートする国際的な奉仕団体です。

仲間と力を合わせて



東京YMCA
会員部／賛助会統括
村上祐介さん

10年で2度目となる大きな地震被害を受けた熊本YMCAに、何かできることはないか。そう考え、東京YMCAでは発災翌日に募金をスタートし、東京都内5カ所での街頭募金も企画しました。そして、昨年1年間(当時私はぐんまYMCAで)、ともに総主事として歩んできた伊藤総主事の力に少しでもなりたいという思いから、8月3日に熊本YMCAへ駆けつけました。

現地では、道路に大きな亀裂が走り、断水によって仮設トイレでの不自由な生活を余儀なくされるなど、厳しい状況が続いていました。全国にYMCAがあり、互いに支え合えることは災害支援における大きな強みです。一方で、被災地のYMCAそのものが被災し、スタッフ自身も被災者となります。刻々と変化する状況の中で必要な支援を見極めることは容易ではありません。だからこそ、YMCAの使命にかなった働きができるよう、これからも全国の仲間と力を合わせ、被災地に寄り添い続けたいと思います。

行動をもって想いを形に



熊本YMCA
ICR・国内協力部
丸目陽子さん

「また起こってしまったか」

2016年の熊本地震から10年という節目に発生した今回の地震直後、思わずそう感じました。しかし、私たちには多くの仲間やつながりがあります。発災直後から全国から多くの支援が届き、仲間たちが現場へ駆けつけて支援活動に参加してくれています。本当にありがとうございます。

8月1日(土)に初めて現地入りした際、傷ついた家屋や道路、水が途絶えた田んぼを目の前にし、胸が痛むとともに10年前の記憶がフラッシュバックしました。猛暑の中でも鳥肌が立つほど、衝撃的な光景でした。発災直後は水などの物資を届けつつ、これまでの経験を活かした支援が現地のニーズに合致した際、すぐに動けるよう準備を整えていました。

児童養護施設「八代ナザレ園」のサマーキャンプ支援や避難所運営など、活動は始まったばかりです。ニーズがある限り息長く現地に寄り添い、行動をもって私たちの想いを形にしていきます。

2026年熊本地震 救援・復興支援募金

熊本YMCAでは、被災された皆さまへの救援・復興支援活動を継続するとともに、地震により被害を受けた熊本YMCAの施設復旧と活動の継続のため、「2026年熊本地震 救援・復興支援募金」を実施しています。

募金の使途

- 熊本YMCA支援募金
- 熊本地震救援、復興募金等

熊本YMCA Webサイト

クレジットカード等からご寄付いただけます。活動報告も掲載しています。



Yahoo!ネット募金

PayPay、クレジットカード、Vポイント等でご寄付いただけます。



※領収書が必要な方は熊本YMCA Webページからお申込みください。

熊本YMCA公式 SNSのご案内

熊本YMCAの諸活動はSNSでも発信しています。フォロー、ご登録をお願いします。



公式LINE



Instagram



Facebook

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



公式LINE

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2026年度基本聖句

ヨハネの手紙 - 3章18節
子たちよ、言葉や口先だけではなく、
行いをもって誠実に愛し合おう